

# 努力しよう！

大阪高体連道専門部  
部長 亀元 政志

結果の出ない努力は無駄か？

電車の中で「努力は裏切らない」と背中にプリントされたTシャツを着ている部活動帰りの高校生を見ました。本当に努力は裏切らないのでしょうか。努力すれば必ず良い結果が伴うのでしょうか。現実には努力しても結果が伴わない場合もあります。柔道であればどれだけ頑張っても試合に勝てないこともあります。受験生であれば努力にもかかわらず志望校に合格できないことだってあります。努力した者が成功するとは限らないが、成功した者は必ず努力しているというのが正解でしょうか。

ただ、努力しても望む結果が得られなかったらその努力は無駄なのでしょうか。そんなことはありません。例えば、受験勉強で得た知識や技能は今後の人生で大いに役に立ちます。結果は得られなくても苦しいことに立ち向かった自分は、大人になってもっと苦しい場面に出会った時に、自分を支えてくれる経験となります。私は小学生から柔道をやっていましたが、たいした成績は残せませんでした。しかし、疲れ果てるまで技の練習をすると動きに無駄がなくなり質も高まること、体の限界まで練習すれば対戦相手もこれ以上はやれないだろうから「勝てる」という自信が湧いてくること、このような経験は社会人として仕事に就いたときに大いに役立ちました。他の人以上に仕事に打ち込めば仕事に対する自信が湧いてきます。自分の能力を超えた量の仕事を任されても頑張っているうちに作業に無駄がなくなり質も高まります。体力・精神に限界が来たと思ったら燃え尽きる前に休むことが重要なことも、競技として結果は出なかった柔道に向き合って努力したことで身に着けることができました。

努力すれば良い結果を伴うと決まっていれば、みんな努力します。でも結果は誰にもわからないので、苦しい努力を続けることへの辛さや不安、自信のなさや、こんなことして何になるのだろうかという気持ちが努力をやめてしまう原因となってしまいます。努力に結果が伴わないこともあります。努力することが自分を大きく成長させてくれることは間違いありません。人としての成長という点で、努力する人とならない人の差は歴然と現れてきます。そういう意味では努力は人を裏切りません。

柔道をやっている皆さん、結果がどうであれ、今やっている努力はあなた自身の成長の糧となります。あきらめずに頑張ってください。一番苦しい時が一番成長する時です。乗り越えた先には新しい自分が待っています。努力することは決して無駄ではありません。志を高く持って努力してください。『努力して結果が出ると、自信になる。努力せず結果が出ると、傲(おご)りになる。努力せず結果も出ないと、後悔が残る。努力して結果が出ないとしても、経験が残る。』

努力は人を裏切りません。柔道の創始者 嘉納治五郎先生は「盡己埃成(じんきしせい)」おのれを尽くして成るを待つ。自分の全精力を尽くして努力した上で、成功・成就を期待すべきである。とおっしゃられています。

本年も、大阪で柔道の稽古に励む皆さんの、柔道に対する努力の賜物を試合で見せてくれることを期待しています。